

人間文化研究機構連携研究「人間文化資源の総合的研究」
研究班「9-19世紀文書資料の多元的複眼的比較研究」
第2回海外招聘研究会

契約文書の近代化

今年1月の韓国古文書学会と共催した国際シンポジウム「近世東アジア契約文書の諸相」では近世日中朝の契約文書を比較した。今回はそれを部分的に受け継ぐかたちで、近代移行期にどのような変化が現れるのかをさぐってみたい。韓国から金炫栄氏（韓国・国史編纂委員会教育研究官）を招きお話をいただくとともに、前日の学際研究会における日本とボリビアに関する報告も手がかりとしながら、より幅広い文脈で所有権文書意識の変化を議論してみたい。

1. 日時 2011年9月30日 午前10時30分ー午後1時
2. 会場 人間文化研究機構国文学研究資料館2階オリエンテーション室
3. プログラム
10:30 趣旨説明
10:40 金 炫栄（韓国・国史編纂委員会）
「韓国における前近代から近代への所有権文書意識の変化：
海南尹氏孟骨島文書を中心にして」
11:40 討論
12:30 前日の学際研究会も含めた全体討論
13:00 終了予定

報告原稿の日本語訳が配布される予定です。

討論は日本語で行われます。

配布資料準備の都合上、出来る限り事前に参加のご連絡を御願ひ申し上げます。

参加連絡先:「9-19世紀文書資料の多元的複眼的比較研究」事務局 renkei.office@gmail.com
東京都立川市緑町10-3 国文学研究資料館